

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年4月 28 日

事業所名 ブロッサムジュニア上越大手町教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	5	2	0		・国の指定基準は満たしていますが、利用人数が多い時には、活動プログラムによって個室を利用するなど、落ち着いて活動に取り組めるように配慮していきます。
	2	職員の配置数は適切である	5	2	0		・現在、国の職員配置基準は満たしていますが、令和3年度は、利用人数が増え、送迎による職員出入りが多くなるため、送迎専門の職員を配置します。職員配置が足りない日には、他教室から職員を配置してもらいます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	3	1	3	・安全面では整理整頓、衛生面では清掃、消毒の徹底しています。	・建物の構造上の問題(階段や段差等)があるため、階段にマットを貼るなどの工夫をしています。今後も、お子様の様子を確認したり、保護者様からのご意見をお聞きしながら、安心、安全に利用できるよう、適宜、環境調整を行っていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	5	0	2		・教室の職員のみで話し合っているだけでは不十分であるため、会社全体での目標設定も明確にし、具体的な行動指針を打ち立て振り返りを行うように検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	5	2	0	・様々な分野の研修を受講することで日頃の支援に活かせるよう努めています。 ・令和2年度は職員スキル向上のためにリモート研修に参加しました。	・令和2年度はコロナの影響もあり、外部研修の機会が少なかったです。令和3年度はリモート研修なども含め頻繁に受講できるように調整していきます。 ・大きな研修に参加しやすいように、研修費の補助などを要望していきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	・子どもの個性や特性を理解し、親子のニーズや思いに寄り添える計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	4	1	2		・標準化されたアセスメントツールは使用していませんが、今後、標準化されたアセスメントツールの使用等を検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行って いる	7	0	0	・ひとり一人の成長過程や能力、親子のニーズなど確認し合い、活動プログラムを立案しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	0	・支援内容の詳細を記録し、いつでも振り返ることで、次回へのプログラムステップに繋がるよう工夫しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1	0	・季節行事、長期休暇などを利用し、集団での社会・運動・制作・音楽プログラムを立てています。	・令和3年度も、お子様の課題に合わせて様々なプログラム内容を検討し設定していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2	0		・令和2年度は集団活動プログラムが不十分であったように感じます。令和3年度は、個別活動と集団活動を適宜、組み合わせながら、プログラム内容を検討、設定していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0	・支援前の役割分担、気を付けるべき支援内容、安全確保の確認事項を毎日共有しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	0	・支援終了後、打ち合わせの場は設定していませんが、その都度、気付いたことなどを職員同士で話し合っています。 ・毎日気付いたことを話し合い、支援記録や職員間ノートに記入することで、常に情報共有に努めています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	・支援内容だけでなく支援中の子どもの様子、変化など詳しく記録し、検証・改善に繋がっています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0		
関係機関や保護者	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	1	0		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	0	0	・学校との連絡事項、急な変更（下校や休校など）などの情報はスタッフ全員で共有しています。	
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	0	0	・就学前の集団での様子、成長過程や特性など情報共有し、今後の支援に活かせるよう、安心安全に過ごせるよう努めています。	
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3	2		（現時点で対象者なし） ・今後、卒業生を送り出す時には引き継ぎを丁寧に行い、スムーズな移行ができるようにしていきます。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	0	・今後も積極的に受けたいと思います。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
その連携	25	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	1	4		・上越市の自立支援協議会に子ども部会がないため、現在、参加実績はありません。今後、自立支援協議会への参加の機会があれば、参加を検討していきます。放課後等デイサービス連絡会には、事業所代表が参加しています。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	0	・家庭での様子や変化を傾聴し、教室で「できた喜び」を伝え合うことで、親子のニーズに寄り添う支援に繋がっています。	
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	3	・保護者様とお子様の様子について話をする時間をとりながら情報共有できるように配慮しています。	・現在、ペアレントトレーニング等の専門的支援プログラムの実施はありませんが、今後、保護者様対象の研修会などの実施を検討していきます。
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0	・利用契約時に説明をしています。また、運営規定や重要事項説明書などを掲示し、内容に変更等がある場合には、随時、配付し周知しています。	
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	0		
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0		
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	1		・令和3年度は、会報等による活動報告において、より具体的な内容を掲載するようにしていきます。
	32	個人情報に十分注意している	6	1	0		・今後も、個人情報の取り扱いには、細心の注意をはらっていきます。
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	・視覚的な提示や、身振りや手振り、手話なども取り入れ、それぞれ個々に合った伝え方に配慮しています。	
	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2	3		・感染症については文書を配布していますが、緊急時対応等のマニュアルについては、現在作成中です。作成後、皆様に説明し、周知していきます。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	1	5		・職員間で非常災害時の対応についての話し合いはしていますが、実際の訓練はできていません。令和3年度は、避難訓練を年2回程度実施予定です。避難訓練実施後には、皆様にお知らせします。また、災害時に必要な備蓄品なども準備していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2	2	・ミーティングで話し合う時間が設けられています。 ・職員研修の機会は設定していないが、報告や伝達などを行っています。	・令和3年度は、虐待防止の研修を職員全員が受講予定となっています。また、日々の支援の中での声掛けや対応方法などにおいて、虐待防止の観点から気づいたことがあった時にはすぐに話し合えるように、職員の関係性を大切にしていきます。
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1	2	・現在、身体拘束を伴う支援は行っていません。	・身体拘束が必要な場合については、職員間で話し合いを十分に行い、些細なことでも個別支援計画書に記載し丁寧に説明させていただきます。また、事業所全体でも、身体拘束についての共通理解を深め、対応方法等を検討していきます。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	1	・ご家族からの申し出により対応しています。 ・医師指示書を把握、共有し、おやつや食事の際、座席にも配慮しています。	・今後も、食物アレルギーのあるお子様については、保護者様との情報伝達を細やかに行い丁寧な対応をしていきます。
	39	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	1	・再発防止の為、対策・改善点を話し合い、共有しています。 ・その都度話し合っています。	・今後も、ヒヤリハットの記録を徹底的に行い、事業所内で情報共有し、大きな事故や怪我に繋がらないように、再発防止のための話し合いを実施していきます。